

平成 22 年度大磯町教育委員会第 4 回定例会会議録

1. 日 時 平成 22 年 7 月 21 日 (水)
開会時間 午後 1 時 00 分
閉会時間 午後 2 時 55 分
2. 場 所 大磯町役場 4 階 第 1 会議室
3. 出席者 大 橋 伸 明 委員長
岩 井 喜久枝 委員長職務代理者
竹 内 清 委員
曾根田 眞 二 委員
福 島 睦 恵 教育長
二挺木 洋 二 子ども育成課長
林 正 人 子ども育成課主幹
大 隅 則 久 子ども育成課子育て支援室長
松 本 卓 次 生涯学習課長
山 口 章 子 生涯学習課図書館長
佐 川 和 裕 生涯学習課郷土資料館長
山 口 信 彦 子ども育成課副主幹

4. 傍聴者 8 名

5. 前回会議録等の承認

6. 教育長報告

7. 付議事項

議案第 6 号 大磯町立小学校で使用する教科用図書採択について

議案第 7 号 大磯町立中学校で使用する教科用図書採択について

8. 報告事項

報告事項第 1 号 大磯町スポーツ振興審議会委員の任命について

9. その他

(開 会)

出席委員が 5 名で定足数に達しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定により定例会は成立し、大磯町教育委員会会議規則第 14 条及び第 19 条の規定により傍聴を許可します。暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(前回会議録等の承認)

委員長より前回会議録の項目を読み上げ、出席委員全員の承認を得る。

教育長報告

教育長) 私からは、6月定例会が開催されました平成22年6月16日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。6月16日、定例会のあと、午後から国府中学校を訪問し、授業参観や先生との意見交換を実施しました。6月19日、教育委員会点検評価外部評価委員会を開催し、教育委員会点検評価について、評価視点等についてご意見をいただきました。6月23日、図書館協議会を開催し、改選に伴い6名の委員に委嘱状をお渡しいたしました。会議では、今年度の図書館における計画策定などについて説明いたしました。同日、文化祭運営委員会を開催し、今年度の文化祭については、10月23日、24日の2日間開催で、会場は、保健センターほか4会場で開催することとなりました。6月25日、社会教育委員会議を開催し、改選に伴い、11名の委員に委嘱状をお渡しいたしました。会議では、今年度の社会教育関係予算及び主要事業について報告いたしました。6月27日、民間幼稚園の募集に際し、小磯幼稚園の施設見学会を実施したところ、当日は8法人が見学に来られました。また、7月2日に1法人が見学に来られました。合わせて9法人が見学を行いました。7月1日、保育士1名、任期付職員3名に異動辞令を交付いたしました。同日、保健センターにおいて、ファミリー教室「ハンナのかばん」講演会を開催し、31名の参加がありました。7月2日、7月16日に民間幼稚園選考委員会を開催し、選考基準等の検討を行いました。7月7日、秦野市商工会議所で開催されました市町村教育長会連合会幹事会に出席いたしました。内容につきましては、平成21年度事業報告、決算報告、平成22年度事業計画、予算案を審議いたしました。また、県教育委員会への要望事項について審議いたしました。7月9日、中地区教科用図書採択協議会を開催し、平成23年度の小学校教科用図書について研究・検討いたしました。7月10日、こゆるぎ文学講座「曾我物語と大磯の遊女、虎御前」を開催し、65名の参加がありました。諸行事等の報告につきましては、以上でございます。また、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

議案第6号 大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

子ども育成課主幹) 平成23年度大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択につきまして、補足説明をさせていただきます。教育長の提案理由にもございましたとおり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定により、種目ごとに1種の教科用図書を採択するものでございます。この法律につきましては、資料の3ページに記載してございます。続きまして、教科用図書の採択に係るこれまでの経緯の概要につきまして、確認の意味で補足説明

いたします。資料の2ページをご覧ください。まず、平成22年3月24日の教育委員会定例会におきまして、中地区教科用図書採択協議会設置要綱を制定し、採択の流れについてご理解をいただきました。その後、5月の第2回教育委員会定例会において、平成23年度大磯町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針について決定いたしました。それらを受け、中地区教科用図書採択協議会を5月7日と7月9日の2日間に渡り開催いたしました。第1回の協議会では、「教科書の定義について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律について、神奈川県採択方針とその詳細について」等の説明と確認を行いました。第2回の協議会では、中管内3市2町が共同で調査研究した結果について、一種目ごとに代表の調査員より報告・説明を行なうとともに、その調査研究結果報告と神奈川県教育委員会による教科用図書調査研究の結果をもとに、22名の協議委員に一種目ごと、計11種目について協議していただきました。説明資料3ページをご覧ください。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条4項では、「採択地区が2つ以上の市町村の区域を合わせた地域であるときは、当該採択地区内の市町村立の小学校及び中学校において使用する教科用図書については、当該採択地区内の市町村の教育委員会は、協議して種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。」と示されております。中地区は、これに該当することにより、同日の7月9日に「中地区教育委員会連絡会」を設置し、中地区教科用図書採択協議会の協議内容を十分参考としながら、種目ごとに1種の方向性を決定するために協議いたしました。その結果が、本日の議案として提出されたものでございます。なお、その方向性についての各教科の一覧につきましては、別紙として添付させていただき、先ほども議案の朗読で読み上げましたが、再度、種目と発行社名を読み上げさせていただきます。小学校教科用図書、国語の国語は「光村図書出版株式会社」国語の書写は「光村図書出版株式会社」社会の社会は「教育出版株式会社」社会の地図は「株式会社 帝国書院」算数の算数は「株式会社 新興出版社啓林館」理科の理科は「株式会社 新興出版社啓林館」生活の生活は「東京書籍株式会社」音楽の音楽は「教育出版株式会社」図画工作の図画工作は「日本文教出版株式会社」家庭の家庭は「開隆堂出版株式会社」体育の保健は「株式会社 学研教育みらい」以上でございます。

(質疑応答)

委員長) ただいま提案のとおり小学校教科用図書については、中地区教科用図書採択協議会あるいは中地区教育委員会連絡会での意見を確認しながら、大磯町教育委員会として教科・種目ごとに採択をしてまいりたいと思います。まず、国語の国語から検討します。中地区教育委員会連絡会では、光村図書出版株式会社ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

岩井委員) 東京書籍は单元名とか学習のポイントがはっきりしていました。これらに私は注目したのですが、それよりも物語の題材が優れている光村をととても良いと思いました。これからは本を読む習慣を大切にしていきたいので、その教科書の内容に応じた多くの本が紹介されていて、子どもたちに読書の活動を広げていく光村を推したいと思います。

竹内委員) 私も光村の方を推したいと思います。今回の学習指導要領の大きな改訂の

柱の一つである言語活動の充実というのは国語に限らず、すべての部分に共通なことだと思いますが、とりわけ国語の部分が言語活動の一番の基礎の部分になっていくのではないかと思います。そういった観点や伝統的な言語活動と国語の特質といったものを考慮する中で、光村の方を私としては推したいと思っています。具体的には岩井委員の方からもありましたが物語文あるいは文学的文章といった読み物教材の掲載数が豊富であって、子どもの情緒的な育ちをサポートするといった内容のものが多くみられました。小学校の1年生の時からかなりの長文を載せていますし、「この本読もう」というコーナーや「本は友だち」という箇所を設けて読書紹介をしたり、子どもたちが読書活動を自分の力で進めていく手助けになるんじゃないか、その大本は教科書の文章になろうかと思っています。物語文を数多く読むことによって読書に関する興味関心を高めたり、読解力がつくことによって、読書に関わる子どもの興味関心が広がっていくのではないかと思います。また、国語といいますが伝統的な言語活動の部分においても「季節の言葉」などは、写真入りできれいな表現がなされており、子どもたちの目を引くといった構成になっている気がします。その他、古典の世界とかでも「今も昔も」といったコーナーでは、「声に出して読もう」ということで「竹取物語」や「平家物語」や「枕草子」など子どもたちが、難しいけど読んでみようかなという気持ちにさせるような内容になっていると思います。それから漢字等についてもスパイラルな学習ができるように、どこの会社でもやっているようですけれども全学年のものを適宜出していたり、前の単元の漢字をまとめて示したりということ、スパイラルな学習を考慮している作りになっていると思います。最後に外見的な部分ですが5、6年生に多くの会社が上巻下巻となっていて2冊になっているのに、この会社は1冊になっていて子どもたちが1年間通して学習を考えたり、初めのころに習ったりしたことを振り返ってみることが年間を通してしやすいのと同時に、中学校では1冊ですので中学校との接続の意味からも考慮されていると思いました。従って先ほど申し上げたとおり私は光村が良いと思いました。

教育長) 竹内委員と重なるところも多くありますが、1点だけ学習指導要領の主な改善事項で伝統文化に関する教育の充実ということが挙げられています。そういう中で伝統的な言語文化ということで3、4年生では短歌や俳句などの教材、ことわざや慣用句の教材、5、6年生では古文や漢文や文語調の文章の教材、古典について解説した文章の教材、こういったものが他の出版社に比べて充実していると感じました。神奈川県教育委員会で作成いたしました調査研究の結果でも、そこには細かく教材数が出ておりましたが、その部分でも大変充実しているようなことで光村を推薦したいと思います。

曾根田委員) 結論から言うと光村が良いかなと思います。今回の学習指導要領の改訂のポイントは言語活動の充実と大きくありますが、もう1つ、記録をして報告をして、推薦をする、それから話題や取材・交流が新設されています。光村については、推薦という意味ではいろいろな人物や事象について推薦したりする教材がかなり多く見られる。新設されたものに対しても対応しているかなと思います。話題や取材や交流、幼児期から読み聞かせが自分で読んでそれを伝えていくといった形でストーリーができていますので、その点でも重なりますけど光村が優れているかなと思います。

委員長) その他のご意見がなければ光村図書出版株式会社を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、国語の国語については、発行者、光村図書出版株式会社を採択することとします。

次に、国語の書写について検討します。中地区教育委員会連絡会では、光村図書出版株式会社ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

竹内委員) 私も光村の方が良いと思います。それはこの書写の教科書を見ていった時に光村といった会社がということかどうか分かりませんが、基礎の部分の充実を非常に意識している作りだと思いました。鉛筆の持ち方や姿勢などが他社でも取り上げていますが、分かりやすくというか力を入れているという基本の部分が大事だというのが一番出ていると感じました。それからあと細かい部分ですが、運筆の表現などが子どもたちに分かりやすい表現で書かれているように感じました。今度の指導要領の中で重視されている伝統文化といった部分についても俳句や短歌などがいくつも練られて、きちっと取り上げて指導する形になっていると思いましたし、昔の文字ということで万葉集の文字も載せられていました。こういったことを総合的に勘案すると光村の教科書が書写の場合には良いかなと思いました。

岩井委員) 私も光村が良いと思いました。3年生からはあまり触れることのない毛筆が導入されますけれども、その際の扱いが丁寧でした。大変、筆使いの方法がきれいに描かれていまして、力の抜き場所などもしっかり分かるように書かれていました。経験のない子も毛筆での書道を試みようという気持ちにさせてくれるような表現が至るところにあり、見ている私も一度やってみようかなと思う気持ちになりました。また、いろいろな古い昔の文字なども触れられていまして、日本のこういう文字だけではなくて、世界にはこういうものがあると知る機会になって良かったと思います。あと、「漢字」や「ひらがな」や「カタカナ」やいろいろなものを混ぜて書くことの素晴らしさが、表現されていることも6年間を通じて良いと思いました。1年生で一番最初に書くお手本の字が大変大きくて見やすかったことがとても印象的でした。従って私は光村を推したいと思います。

曾根田委員) 結論から先に言うと光村が良いと思います。国語を含めて書写も言語文化や言葉や文字のきまり、漢字の基本とか書写から構成されている。書写についてもこういったきまりとかについて丁寧に書かれているかなということで、先ほど申し上げた結論になります。

委員長) その他のご意見がなければ光村図書出版株式会社を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、国語の書写については、発行者、光村図書出版株式会社を採択することとします。

次に、社会の社会について検討します。中地区教育委員会連絡会では、教育出版株式会社ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

教育長) 私も教育出版ということでお話をさせていただきますが、1点目は学習指導要領の改善事項の1つであります、言語活動の充実の観点からですが、「伝え合

う力」というところで単元の学習をまとめ、様々な協議活動を例示しております。学習をまとめるにあたって「新聞を作ろう」とか「かるたを作ろう」とか「レポートにまとめよう」とか「ゲームを作ろう」とかたくさんありますが、そういうことで学習をまとめる、そういう表現が非常に充実しているというのが1点でございます。2点目に3, 4年生の地域学習の観点で申し上げますがお隣の平塚市の空襲の時の戦死者の数ですとか、相模川の河口といった大変身近なところの取り上げ、神奈川、特に横浜ですが県の調査研究の結果では180ページに及んでいるという意味で地域学習を行う上で親しみやすいかなと思います。3点目ですが、伝統文化を尊重する観点から歌舞伎や文学等に関する事、あるいは歴史上の人物の取り上げ方、また国宝や重要文化財や文化遺産の取り扱いが大変豊富で充実しているということで教育出版を推薦したいと思っております。

曾根田委員) 社会については、私も教育出版です。最後に東書と二つ残ったのですが、今回の学習指導要領の改訂のポイントを振り返ってみて新たに社会的事象、例えば、防災とか情報の双方向の取り扱いと、1例ですけれどもこういった社会的事象に関心を持って、多面的に多角的に公正に判断する能力を養う社会的な見方を養いなさいと言っている訳ですね。そういった意味で例えば、高学年の戦争と平和の関係についての扱いについて東書の方が分かりやすいのですが、社会的事象に関してのアプローチの仕方と、それに伴って考えさせるところで残ったのが教育出版でございます。

委員長) 私も日本と世界のつながりというところでは、その国の言葉や政策や文化など多方面からの視点で書かれ、とても教出が分かりやすいと思えました。神奈川県教材を多く取り上げていて、子どもたちもとても親しみやすいと思えました。

その他のご意見がなければ教育出版株式会社を採択したいと思っておりますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、社会の社会については、発行者、教育出版株式会社を採択することとします。

次に、社会の地図について検討します。中地区教育委員会連絡会では、株式会社帝国書院ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

教育長) 地理については、2社だけでしたので、比較検討をいろいろな部分でいたしました。結論的に申しまして帝国書院の地図については、縮尺が統一されている。都道府県の地図が100万分の1、日本の国土全体が400万分の1、江戸の地図と東京の中心部の地図が同一の縮尺で描かれている。そういうことで混乱が無く比較ができるという大変大きな利点がある。もう1点は等高線も含めてですが、大変見やすいといったところも帝国書院の良いところかなと思えました。

委員長) 私も帝国書院の方が見やすいと思えました。先ほど教育長もおっしゃったとおり等高線がとても見やすく、縮尺もきれいに揃っているので子どもたちにとっても見やすいと思えました。

その他のご意見がなければ株式会社帝国書院を採択したいと思っておりますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、社会の地図については、発行者、株式会社帝国書院を採択することとします。

次に、算数について検討します。中地区教育委員会連絡会では、株式会社新興出版社啓林館ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

竹内委員) 算数の教科書については、啓林館が良いと思います。今回の指導要領の改訂もそうですが、理数教育の充実ということが、この頃、ずっと指摘をされております。そういった形の中で算数をきちんと考えた上で算数的な部分の力を付けておくことが非常に大事ではないかと思いました。そういった考えの中で啓林館の教科書は、非常に計算問題が量的にも多いし充実をしている。この計算問題をきちんとやることによって、算数の基礎力の形成を図っていくんだという姿勢が見られました。特に3年生あたりから徐々に難しくなっていくって、算数嫌いにつながっていくことも考えられる訳ですから、3年生あたりから問題を増やしていくって、5、6年生はかなりの量の問題があります。また、答えも付いていて自学自習にも役立つことができる。更に、6年生では「もうすぐ中学生」という欄を設けて今までのまとめと中学校へのつなぎの部分をよく意識した構成になっていると思いました。あとスパイラルな学習が算数の場合は要求されますが、各単元の終わりに「確かめ道場」、「復習」という欄を設けて、更に、その次の新しい単元に行く前に「準備運動」といった形で興味を持って次につながられる形ができるということに、工夫がなされていると思いました。最後に言語活動ということが言われている訳ですけども、この教科書の場合には、様々な子どもたちが考え方を出し合って互いに学び合う工夫、授業展開を意識して伝え合う、発表し合うことから言葉使いに至るまで、ですます調の敬体で書かれているということできちんとした日本語、発表の仕方、そういった言語活動の充実を図っていくというのが見てとれました。それ以外にもありますが結論的には啓林館が良いと思います。

曾根田委員) 私も啓林館を採択したいと思います。理由については、竹内委員とかぶりますが、算数的活動の思想の充実、実際、具体的なもの、例えば、具体物を用いて数量や図形についての意味を理解させる、知識や技能を実際活用する場面が他社に比べて非常に多く、また、スパイラルが単にスパイラルでは無くて1年の学習過程の中で、スパイラルをさせながらワンステップアップといった形で捉えている。それから低学年からその数量関係に啓林館では、基本の計算問題を非常に多く取り入れて、自分でやらせて体で覚えさせるところが他社よりも確立されていると思います。

教育長) 私も竹内委員や曾根田委員と重なる部分もあると思いますが、1つはスパイラルの学習活動ができるかという部分です。これは、他の出版社についても扱っていますけれども、その中で「復習」とか「準備運動」といった活動ができると同時に、練習問題も多いということが算数の基礎基本の定着のためには適しているだろうと思います。それから、「考えをまとめる」「発表する」「説明する」といったこの部分について「ですます」になっています。「吹き出し」も含めて公の場でみんなの前で、説明したり、発表したり、話したりする仕方についても言語活動の充実と同時に、道徳教育の充実も意識した作りになっていると感じました。あと、自動車工場の見学ですとか、上手にケーキを買うと

か、社会科や家庭科との関連、実生活との関連も意識した中で作られていると感じました。従って啓林館を推したいと思います。

委員長) その他のご意見がなければ株式会社新興出版社啓林館を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、算数については、発行者、株式会社新興出版社啓林館を採択することとします。

次に、理科について検討します。中地区教育委員会連絡会では、株式会社新興出版社啓林館ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

曾根田委員) 今回、結論は後で言います。まず、各出版会社をいろいろな観点からチェックをいたしました。全教科共通の改訂ポイント、言語活動の充実とか、理科固有の観点、例えば、実験をしたり、実験し観察をして物づくり、栽培、飼育等のいろいろな活動、学年や児童の成長の過程に合わせた問題解決といった観点に絞って検討いたしました。理科については、理科における科学的な考え方、見方の基礎を養うのが今回の重要な観点になっていまして、まず、自然事象に対してなぜ、どうしてと疑問に思う視点を育てる、さらに観察、実験に関わる仮説、検証実験、結果の整理、考察、この4つの過程を確実にに行えるようにするために各単元の始めに観察、実験の仕方の基本スキルを提示しているか。2点目として、事象の比較や実験結果を整理して考える場を意図的に設定しているか。3点目に教師あるいは児童が使いやすい実験器具の種類、取り扱いの提示、これがちゃんと入っているか。4点目にノートを取り方、ノートを取らせて、そこで児童に気付きを持たせる。こういったストーリーから見て、残ったのが啓林館と東京書籍の2つが残ったのですが、この2つの中で更に絞って考えたのが、科学的な考え方を養う観点から問題解決の過程が関連付けられている構成になっているか。観察、実験の扱いが多いか、データが多いか、器具や材料の扱い方の説明が多い、巻頭で学びのイメージを提示して、更に実験結果を整理して考えさせるために話し合う場を設定させていまして、見通しを持って学習できるような形で、なぜ、どうしてと言った問いかけを強調させている観点、あともう1つ、調査の結果から記録カード、予想、計画や考察のためのマークが入っている。そこから主体的に児童が解決をしていく動きをさせている点から最終的に啓林館が残ったので、結論的には啓林館にしたいと思います。

竹内委員) 私も結論的には啓林館が良いと思いました。曾根田委員と重複するところもあるかと思いますが、私が見た中では理科というのは、疑問があって、その疑問に対してどういう手立てを持って、その解決、その疑問を解き明かすのにいたるか、その部分が大事なことであって、その疑問が出た段階のところで「？」でまず示す。それに対して4つに分かれて、その解決の仕方が記述されています。観察、実験、資料調べ、話し合い、この4つに分かれて作業を進めていくということで、その意味では分かりやすい構成になっています。それともう1つは神奈川県題材、先ほどの社会科ではありませんが、理科においても秦野の水無川の魚道とか、関東ローム層、箱根の大涌谷、伊勢原の学校の岩石園といった、この近辺の題材が取り上げられていることによって、子どもたちが理科の授業を身近なものとして、捉えることができるのではないかと

ことを私は理由の1つに挙げたいと思います。最後に各学年、他の出版社も取り上げていますが、ちょうど夏休みに入りましたが、自由研究の手順、「題材設定」から「計画」から「実行」から「まとめ」から「発表」に至るまでの手順を各学年詳しく説明してあって、子どもたちの自学自習の一助になるのかなと思います。以上のことから啓林館を推薦したいと思います。

教育長) 科学的な見方、考え方の基礎基本を養うということで、この教科の目標でもある訳ですけども、そのために問題解決型の学習を進めていく。自分たちの考え、ある事象に対して自分たちの考えはこうだという、実験や観察をして確かめていく訳ですけども、その結果、考察が理科的な見方、考え方につながっていく。そういう中で啓林館では学習のまとめというところで、子どもの手書きと言いますか、いわゆる活字ではないもので、文字であったり、絵であったり、図表であったり、そういうことで学習のまとめが構成されている。ノートを取り方であるとか、レポートの作成等を含めるとこれも理科の科学的なものの考え方を養うと同時に、言語活動の充実の視点から全部考えられていて、意識した作り方だと感じました。啓林館がよろしいじゃないかと思います。

委員長) その他のご意見がなければ株式会社新興出版社啓林館を採択したいと思います。いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、理科については、発行者、株式会社新興出版社啓林館を採択することとします。

次に、生活について検討します。中地区教育委員会連絡会では、東京書籍株式会社ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

曾根田委員) 私としては全部採用したいくらいです。各社良くできていまして、どうすれば良いかという話しで、できるだけ子どもの目線に立って見てみたのですが、生活の中では、2つポイントがあるかと思います。生活科における科学的な見方、考え方の基礎を養うことが1点、これについては、自然なる事物事象と出会って見て、触れて、遊んで、こういった児童の自発的な活動によって感動して不思議だなあと思ったり、どうしてかなあという疑問を起こさせる。それを自分の言葉で伝えることが大事だということです。知的な気付きとしてどう深めていくかということが科学的な見方、考え方の基本に立っていますので、これを頭に入れて検討しました。2点目は安全教育ですね。それと生命に関する教育の充実、健康や安全に気を付けて、友だちと遊んだり学校に通ったり、規則正しく生活することができるようにすることが、生活科の大きな柱になっています。具体的には、通学路の様子とか、学校施設の様子やこれらの安全を守っている人々に関心を持って、児童が安全に登下校して学校生活を楽しくやっていくことが生活科の基本です。各社いろいろと頑張っているのですが、最終的に言語活動の充実の点で、計画を立てて、聞いて振り返って、まとめて発表する場を設定して、それから地域、家庭、学校においてルールを守って安全に生活するための約束事とかが各単元に提示されています。東京書籍の特徴になっています。自分と身近な人々、社会と自然との関わり、教科別の視点になるのですが、活動の時の安全やマナーについて具体的に提示していく、生活や出来事との交流、季節の変化と生活、公共物や公共施設の内容を多く取り上げておりまして、公園という同じ場の中で、さまざまな人との交流を設定させて

いる。これが気付きの質を高めていくのかなという観点から東京書籍が一番優れているかなと思います。あと残念なのは大磯のことなんですけれども、どの会社も大磯を取り上げていないので同じ点数にしましたけれども、欲を言えば大磯も取り上げてほしかったと思います。

岩井委員) 私は生活科というのは、小学校に入って1, 2年生で社会のルールであるとか、身の回りのことを吸収する大切な教科なので、その中で子どもたちが今、幼い時から自然や動植物に触れること、社会との関わり方など少なくなっている感じがします。約束や規則を守る意味を理解できないまま、小学校に入るお子さんも多いと思います。そういうところから見てルールや安全、衛生面の注意が、子どもに理解しやすい表現で書かれていたのが東書でした。安全に対する注意喚起等についてはキャラクターが「こうしようね」とか「こうすると良いよ」という表現がなされていて、1, 2年生にはわかりやすいのではないかと思います。動物に触った時は「必ず、手洗いやうがいをしようね」とかいうことがあらゆるところに記されていたところに、生き物を飼ったりしたことのない子どもたちに、そういう部分を伝えていくことは、大切なことかなと思いました。なかなか大人の口で言っても分からないことを教科書の中で語ってくれているところが良かったと思います。いろいろな体験を通して、何を学んでいくかということの詳細にしてくださるところが、ここかしこに見られるので私は東書を推しました。

委員長) その他のご意見がなければ東京書籍株式会社を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、生活については、発行者、東京書籍株式会社を採択することとします。

次に、音楽について検討します。中地区教育委員会連絡会では、教育出版株式会社ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

岩井委員) 教出と東書に小学校で学ぶリコーダーの指使いが載っていました。どこのページを開いた時にでも、巻末のそのページが見ることができるようになっていまして大変それが使い易いと思いました。また、教出の方には、「につぼんのうた、みんなのうた」ということで、写真やイラストやいろいろな物が載ってまして、とても良かったのですが、なかなか難しくどちらが良いのか迷いました。皆さんと話をしているうちに教育出版の方が、良いのかなと考えるようになりました。

教育長) 今の岩井委員の巻末のリコーダーの指使いもそうでございますが、私も教育出版を採択したいと思います。特に共通教材に2年生の「虫の声」、3年生の「茶つみ」、「ふじ山」、4年生の「さくらさくら」、「もみじ」、5年生の「こいのぼり」、6年生の「おぼろ月夜」、「われは海の子」、これらについては4ページを使って迫力のある写真と共にコラムを設けて作詞者や作曲者、楽曲等の説明がなされていて、曲に対する理解が深まるように工夫されている。東京書籍の「さくらさくら」、「まきばの朝」、5年生の「こいのぼり」、6年生の「おぼろ月夜」も日本画や浮世絵など大変すばらしいものを使っているのも魅力的だったと思います。ただ教育出版については、今申し上げた見開き4ページを使っているものと合わせて、1年生から6年生まで「にほんのうた、みんなのうた」

を中心に季節の歌、自然の歌、心の歌など伝統文化に関する教育の充実を意識した作りになっているのと、合わせて我が国の音楽、郷土の音楽を扱っている曲数ですね。これも県の教育委員会の調査研究の結果でございますが、表現（歌唱）、表現（器楽）、鑑賞、の3つの分野で教育出版はトータルとして153曲、その他に比べて大変多く、我が国の音楽、郷土の音楽を扱っている点も良いと思われました。1年生から6年生まで全校で歌える合唱曲が教育出版が2曲出ております。手話も取り上げていて良い作りだなと思われました。もう1点、低学年で就学前の子どもたちの生活との関連にも配慮しながら、子どもの生活に根ざした遊びやゲームの要素を取り入れて、楽しく学習できる、音楽に親しめるように工夫されていると感じました。そういうことで教育出版を採択したいと思えます。

曾根田委員) 日本語の美しさ、伝統の文化の言語ルーツがあるのですが、共通教材の中でも岩井委員、教育長が言われた昔からある「さくらさくら」などの「にほんのうた、みんなのうた」、日本語の響きの美しさを教えたり、感情の高ぶりといった情緒面での教育、私が非常に好きなんです。そういう点で多く紙面をさかれている、東書もあるのですが、一番強く意識しているのは教育出版ではないかと思われました。

委員長) その他のご意見がなければ教育出版株式会社を採択したいと思えますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、音楽については、発行者、教育出版株式会社を採択することとします。

次に、図画工作について検討します。中地区教育委員会連絡会では、日本文教出版株式会社ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

教育長) 私は日本文教出版株式会社がよろしいと思えます。図画工作科の教科の目標であります、表現や鑑賞の活動を通して作り出す喜びを味わうようにするとともに造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う教科の目標からみますと日文については、1つの題材に対していろいろな表現方法が提示されているのが1点です。それから子どもの作品が例示としていろいろ出ておりますが、作品が他の出版社に比べ、いわゆる優れた作品よりも誰にでもできそうな、親しみやすい、自分にもできそうだという子どもの作品が多かったと思えます。3点目は道具の使い方の部分ですが1, 2年生では例えば、はさみ、カッターナイフ、3, 4年生では金づちやのこぎり、こういう創作活動をやっていく上での道具の扱い方をイラスト等を使ってきちんと説明をされている、配慮されている作りになっている。「特に気を付けよう」とか、「片付け」とか、それらについての配慮がなされているので、日本文教出版株式会社を採択したいと思えます。

委員長) 私も日文の方が教科書を見て、作品作りに取り組む子どもの目線が一番近いかなと思えました。開隆堂の方も子ども作品が載っているのですが、飛びぬけて素晴らしいものばかりで、子どもたちが見てどう思うのかなと思えました。日文の方は、技法もたくさん載っていて子どもが教科書を見ればこういう技法をやってみようかなと理解しやすいのかなと思えました。

岩井委員) 私も日文を推したいと思えます。日文は教科書全体の色の感じが落ちつた

感じで印刷されていて、誰が見ても見やすいのではないかなと思いました。また、図画工作というのは、なかなか表現の問題の個人差がありますので、そういう点から見てもいろんな説明がされていて、いろんなやり方があるんだよというのが教科書の中に示されていて、情報の多さも日文の方が多かったと思います。私は日文を推したいと思います。

委員長) その他のご意見がなければ日本文教出版株式会社を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、図画工作については、発行者、日本文教出版株式会社を採択することとします。

次に、家庭科について検討します。中地区教育委員会連絡会では、開隆堂出版株式会社ということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

岩井委員) 現在は家庭環境にもいろいろなパターンがあって、これだということが無いと思います。開隆堂は、そういったことに配慮した表現がなされていました。もう一方の出版社では、親子三世代といった表現の写真がとても多くて、学校の先生も説明する時に苦労するのではないかなという印象がありました。また、食の工夫に関することなども開隆堂には多く載せられていまして、大磯町でも食育のことを保育園や幼稚園でも扱っており、中学、高校と引き続き食育に関して力を入れているところなので、そういうものがバランス良く配置されているのが良いのではないかなと思いました。あと、実習に関する安全についても分かりやすく、大変丁寧に手順を追って表現されていて良かったと思います。したがって私は、開隆堂を推したいと思います。

曾根田委員) 一部重複するところがありますが、結論から言うと開隆堂にしたい。まず、1つ目、家族と家庭の役割の指導がございまして、ここも今、岩井委員が申された二世代、三世代が関わってくるのですが、非常に難しいのですが、今の実情に合わせた形で言うと開隆堂の方が違和感はないかなと思います。「高齢者との交流をきちんとやりなさいよ」というのは開隆堂が充実している。「食育環境について教育しなさい」という今回の指導要領ですが、かなり開隆堂については、食育部分に配慮している、また、環境に配慮したライフスタイルの設定になっている。もう1つ家庭科では、意外と危険なものを使う、はさみや針とか、包丁とか危険度の高い器具の取り扱いへの配慮もされている。

委員長) その他のご意見がなければ開隆堂出版株式会社を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、家庭科については、発行者、開隆堂出版株式会社を採択することとします。

次に、保健体育について検討します。中地区教育委員会連絡会では、株式会社学研教育みらいということで方向性が出ていますが、いかがでしょうか。

竹内委員) 保健ですが私は、学研の方が良いと思いました。4年生の教育目標の中に健康な生活を営む資質、能力を養うことを意識して、この学研の教科書の場合は随所に大人で言えば問診票、子どもはチェックシート、自分の生活とかあるいは体の状態に関して、レ点を打ってチェックをするというような欄がありまして、日常的に生活や体の状況を振り返って把握していくことの大切さが、健

康な生活を行う上で一番ベストだということで、きちんと振りかえさせることができるということが、一つの教科書のメリットではないかなと思います。また、單元ごとにその本文ではなくて囲みの中で、学校の校医とか養護教諭とか保健師とか栄養士、スクールカウンセラー等のそれぞれの單元における、それぞれの立場からの適切なコメントがあって、人の健康には学校ではいろんな人が関わっているんだな、自分の健康はこんないろいろな人が見てくれているんだなということが子どもに伝わっていると思います。5, 6年生の方で今日的な健康課題ということで、県の調査研究では9項目上がっていますが、その中のすべてについて網羅しているのがこの学研みらいだけということです。現在、問題になっている熱中症の問題、あるいは新型インフルエンザの問題、薬物飲酒喫煙については、その害を教えるだけではなく、その薬物飲酒喫煙に誘われた場合に「断り方を自分の言葉で記述する」と言った欄もありまして、子どもに本当に自分の気持ちとして、断らなければいけないということを意識させる上では良い作りになっているのではないかと思います。以上のことから学研が良いと思います。

教育長) 保健については、5社から出版されていましたが、どの出版社も食事、運動、休養・睡眠の健康な生活を営む上での三要素は、当然、どの出版社も取り扱っていました。その中で学研が三要素を大変わかりやすく大きな三角形の図として示されていました。これは非常にパッと見てわかりやすいという印象を受けました。この健康な生活を保つための三要素である食事栄養、運動、休養・睡眠、これは4年生で扱う体の発育、発達でより良く成長するためにバランスの良い食事、適度な運動、十分な休養・睡眠が大切ということを取っていますし、6年生で病気の予防について抵抗力を高めるために、また生活習慣病の予防のところでも、繰り返し出てくる大変重要なキーワードです。この3つは。保健に3年生で、初めて出会った時に三要素が示されているということで、学研が良いなと思いました。4年生で扱う体の発育と発達のところ、大人に近づくときの内側、外側でどんな変化が起きてくるのかという扱いの中で水着の男女の写真、大人と子ども、裸体のイラスト、学研と大日本については、衣服を着ているイラストなんですね。変化については、文章で書いてある。私は9歳、10歳の子どもですからあえて水着の男女の写真ですとか、裸体のイラストが必要かどうかというのは感じました。学研はそういうところは、きちんと衣服を着ているイラスト、変化については文章で説明している。時期とか変化の起こり方は一人、一人違うことが子どもにとっては精神的に大変重要なことでもあります。その個人差があるということも丁寧に記述している。また、竹内委員のご意見にもございましたが、身近なお父さん、お母さん、保健の先生、担任の先生の振り返りで個人差に気づかせていくという配慮を感じました。5年生で扱うけがの予防、手当てについては各社そんなに大きな違いはなかったように思います。ただ、6年生で扱う病気の予防の発展的な内容として、今日的な健康に対する課題は、先ほど竹内委員がおっしゃったとおり、学研の方が十分扱われている。それと感染症の中で感染症をキーワードにインターネットなどで調べると詳しい情報が得られますよという形で、発展的な学習ができますよということで、ホームページのアドレスを紹介して麻薬や覚せい剤の防止センターや日本保健医学会等を紹介している。そういうことで学研を推したいと思

います。

委員長) その他のご意見がなければ株式会社学研教育みらいを採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) それでは、大磯町教育委員会として、体育の保健については、発行者、株式会社学研教育みらいを採択することとします。

それではもう一度採択ごとに読み上げますのでご確認ください。国語の国語は「光村図書出版株式会社」国語の書写は「光村図書出版株式会社」社会の社会は「教育出版株式会社」社会の地図は「株式会社 帝国書院」算数の算数は「株式会社 新興出版社啓林館」理科の理科は「株式会社 新興出版社啓林館」生活の生活は「東京書籍株式会社」音楽の音楽は「教育出版株式会社」図画工作の図画工作は「日本文教出版株式会社」家庭の家庭は「開隆堂出版株式会社」体育の保健は「株式会社 学研教育みらい」以上を平成 23 年度大磯町立小学校で使用する教科用図書として採択いたします。

議案第7号 大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

子ども育成課主幹) 平成 23 年度大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択につきまして、補足説明をさせていただきます。教育長の提案理由にもございましたとおり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条の規定により、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科書を採択するものでございます。この法律につきましては、説明資料 2 ページに記載してございますが、政令で定める期間とは、説明資料 3 ページの義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第 14 条にございますように、「同一の教科用図書を採択する期間は、4 年とする」となっております。しかしながら、中学校の教科用図書の採択替えは昨年度に行い、その際にもご説明いたしましたが、中学校では、平成 24 年度より新しい学習指導要領が完全実施となる関係で、昨年度の採択替えでは、移行期間である平成 22 年度及び 23 年度の 2 年間使用するための教科用図書を採択していただきました。従いまして、期間としては特例で 2 年間となります。いずれにいたしましても、平成 23 年度に使用する中学校教科用図書につきましては、今年度は、採択替えの年度ではございませんので、昨年度と同様、別紙のとおり採択していただきたくお願いいたします。ただし、不測の事態、例えば採択してある教科書会社が倒産するというような場合などが発生したときは、今年度もその種目に限り採択替えをすることになりますが、現時点では、不測の事態等は報告されておられません。なお、中学校につきましては、先ほどご説明いたしましたとおり、来年度が採択替えの年度となります。

(質疑応答)

委員長) ただいま、事務局から説明がありましたように中学校教科用図書については昨年度採択替えをいたしましたので、特に問題はないかと思いますが、何か

ご質問があれば、お願いいたします。

委員長) 採決に入ります。議案第7号について原案どおりご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第7号、平成23年度大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択については原案通り承認いたします。

報告事項第1号 大磯町スポーツ振興審議会委員の任命について

子ども育成課長) 大磯町スポーツ振興審議会につきましては、スポーツ振興法及び大磯町スポーツ振興審議会設置条例に基づきまして、平成20年度まで教育委員会の附属機関ということで、任命につきましても教育委員会が任命しておりました。平成21年4月から機構改革等によりましてスポーツに関する事務が、教育委員会の事務から町長の事務に移管されたため、当審議会については、町長の附属機関となりまして、委員の方についても町長が任命することとなりました。委員の任命にあたっては、町長が教育委員会の意見を聴くこととスポーツ振興法に規定されておりますので、7月12日付けで町部局より大磯中学校熊澤校長の任命について意見聴取という依頼がございました。今回の任命につきましても、前委員の国府小学校吉田校長が退職されたため、その後任として大磯中学校校長の任命ということでございましたので、この件の意見聴取につきましても、教育長の専決により別紙のとおり教育委員会として特に意見はございませんと報告させていただきましたので、今回の報告事項とさせていただきます。

その他

曾根田委員) 6月30日、新聞記事に出ていました、藤沢市立中学校長が修学旅行費を着服した話がありました。新聞記事によりますと県が県内の教職員の指導を徹底するとありましたが何かきていますか。

教育長) 程なく、県の教育委員会より各市町村教育委員会宛に、このような事があり、処分をしましたと通知がありました。綱紀保持について、引き続き厳正に努めてほしいとの趣旨の通知がきておりました。7月15日、校長の集まる経営者会において新聞記事をコピーいたしまして、指導的な立場にある者が横領ということをお犯す不祥事は、あってはならないとお話ししました。併せて、事務職員による懇親会費を着服した記事もありましたので、学校での私費に属する会費、「教材費」「給食費」「部活動にかかわる会費」について厳正にするようにとお話をさせていただきました。また、各学校から現在どのように私費会計を徴収し、管理し、決算報告がどのように行われているのかということで各学校に調査依頼をいたしました。教職員の事故・不祥事については、毎月の経営会のおりに、私の方から必ず事故・不祥事の防止ということでの話をしております。昨年度、教職員による軽微な交通事故が何件かありましたが、今年度こそ、事故・不祥事ゼロを目指して職員に指導していただきたいと、園長、校長には

お願いしているところです。幸いなことに1学期が終わりましたが、教職員による事故・不祥事は起っておりませんので、引き続き22年度ゼロ運動ということでやっていきたいとお話させていただいております。

子ども育成課長) 次回の定例会につきましては、定例会ですが8月18日水曜日、4階第1会議室で午前9時から行います。午後からの学校訪問は8月はございません。よろしく願いいたします。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成 22 年 8 月 18 日

委 員 長 _____

委員長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____